

編輯室の内外

秋風窓を訪れ、盛夏に爛れた心身を緊張せしむる、秋の自然の恵は禮讚せずには居られない、其の勢であらうか、本月號には特に名論卓説を収め得たことは編輯子の頗る満足するところだ。

吾人が力説した失業救済の爲にする道路の改良問題も、漸く政府の耳に徹底したのか、國道改良の直營案が提議さるゝやうに爲つた、本來から言へば、何も失業救済と言ふやうな餘り有難くも無い名稱を附加するの必要もない仕事だ、此名前を附加せなければ是認されない世の中、詰らぬことではある、併し夫れ位のことは咎めもしない、唯だ政府の失業救済事業實行の宣傳に使はれて糟喜に終らない事を祈るだけだ。

政府よりは一と足先きに之を實行したのは、山梨縣と長野縣だ、甲州街道の難路を改修して東京の失業者を救済し併せて沿道農村の疲弊を救済しようとするのが山梨縣の事業、長野縣のは夫れとは少し違つて蠶

業不振の爲に困憊してゐる住民に授職する爲に重要府縣道を改良すると言ふのである吾人は最先に之を實行した兩縣當局の賢明を賞えて其の成功を祈つて已まない。

兩縣の計畫に動機して、之に倣はんとする地方も随分多いやうだ、人眞似の上手な日本人だもの、夫れに倣ふことは必ずしも責めない、某縣のやうに俺の府縣には失業者は居ない杯と言つて世を誤覺化して居る長官よりは賢明だ、大にやるが可い。

財政緊縮の爲に國外旅行は絶対禁止と言ふ觸出しは、本會の海外派遣員獎勵事業と相衝突して其前途を憂慮せしめた、殊に今年第六回萬國道路會議があるのに不拘、此禁止で日本だけが列席出来ないものと思つて憤慨して居たら、此會議だけに除外例が設けられて、本會の推薦した藤井眞透君が俄に出席することに爲つた、此當然のこととさへもなか／＼おい夫れとお許しの出ない現内閣の下では官員様は厄年の態だ。夫れに與黨の連中が先達ての苦い世評の攻撃を忘れたやうに、官吏の減俸問題を擔いで騒いでゐる、又決議取消の厄に遭ふのは

當然だ、モウ少し眼先きを見るが可い、國外旅行禁止の政策に相反するものがモウ一つ、外客誘致を目的とする觀光局の設置、國人は海外に行くべからず外人は大いに來るべし、と言つた調子の考案、鎖國主義で無いにしても得て勝手な振舞、是て列國との親善交際が出来るだらうか、之も再考を要する問題。

本誌定價 五十錢
一ヶ年分 金六圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省內
發行所 社國 道路改良會
社人
發行兼 小 島 效
編輯者

東京市芝區愛宕町三ノ二二
印刷所 東洋印刷株式會社
印刷者 牛丸勝三郎